

1. 多摩市若者会議とは

多摩市 若者会議

●ファシリテーター:

林田 暢明 氏 (総務省 地域力創造アドバイザー)

2017年6月、若い世代が主体となり、「住んでみたい」、「訪れてみたい」と思えるような魅力を創出し、発信する「多摩市若者会議」がスタートし、実行委員(コアメンバー)を中心に、口コミやSNS等により参加者の輪を拡大させながら、プロジェクトの検討と実践を行ってきました。

【多摩市若者会議のねらい】

- 主に39歳以下の若者(近隣の大学生、社会人が中心)が一堂に会する場をつくります。
- 参加メンバー同士の対話を通して、多様な知恵を融合させ、これまでにないアイデアを生み出します。
- アイデアを出して終わりではなく、提案者である若者自らプロジェクトを企画し、実践していきます。

3. 3年間の主な活動内容

一部のみ。詳しくは各年度の報告書を参照ください。

- 未知カフェの創設
一年目に探った若者のニーズ・ウォンツから拠点の整備を計画し、二年目にクラウドファンディング、DIYにより開設
- 未知カフェを舞台にした多彩なイベント実践
・東京ヴェルディ・日テレベレーザPV
・プログラミング教室
- 公園・遊歩道を活用したまちづくりプロジェクト
・Googleストリートビュー撮影
・多摩中央公園プレイスメイキング社会実験参加
- 地域イベントへの参加
・Jsmile多摩八角堂ランタンフェスティバル出展
・KAOFES2018/2019への出展
- 市外イベントへの参加、連携
・全国まちづくり若者サミットの開催協力
・地域課題解決コンテスト「チャレンジ!! オープンガバナンス」で二年連続の入賞



2. 参加者の属性、声

多彩な年齢層・職業・居住地から参加者が集まりました

- 総計735名参加(ワークショップ14回、フィールドワーク3回)
平均年齢27.8歳
学生4割、会社員・自営業4割、公務員他2割
市内3割/市外7割
半数が若者会議に興味、地域のまちづくりに興味
内容満足88%
継続参加意向8割超



＜参加者の声＞

・若い人を中心しつつも、子育て世代、フリーランスなど、いろんな方がいると考えが深まって面白いですね。
・多摩市をこういう街にしたい、多摩市で事業を起こしたいと実際に動く人がいることは素晴らしい。
・つながり、応援し合う関係が重要。成功例を増やし、楽しい場づくりをやってきたい。

4. 今後の多摩市若者会議は？

『若者会議から街の魅力を生み出そうとしていたけれど、若者がチャレンジできる「場」=若者会議が存在すること自体が街の魅力ではないか？』

＜来年度の活動方針＞

- 若者が参加し易く、チャレンジできる「場」を提供していきます！
- 未知カフェを継続、若者のまちづくり拠点としてフル活用します！
- これらを実行する法人を設立します！



【お問合せ先】

多摩市企画政策部企画課 Tel. 042-338-6813 (直通)

公式ホームページ <http://www.city.tama.lg.jp/category/2-9-11-0-0.html>

市HP QRコード

